

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第22号 2020.10.25 発行

三峰川への石拾いが紅葉ツアーに

予定より一週間遅くなりましたが、佐野さん、熊さんや市民ボランティアの人たちとともに再び石斧の材料拾いに三峰川へ。昨年は、初めての事なので多くの参加がありましたが、今年は初参加4名、2回目参加4名+市民ボランティアの人たちで出かけました。昨年石斧造りを経験した人にとってはトラウマになってしまったのか、昨年に引き続いて参加した人が少なかったのはちょっと残念でした。しかし、ちょうど紅葉が始まった時期と重なり、石拾いよりも河原での紅葉ピクニックとなり、ちょっと得した気分も味わうことができました。途中バイクのツーリング集団にも多くであいりましたが、こんなところまで自転車やランニングをしている人たちがいて、それにもビックリ！ ”Go To なんとやら”の影響だけではなさそうでしたが、山岳道路をそれぞれに楽しむ人たちも久しぶりのお天気を満喫しているようでした。

❁ 石斧材料の石材収集

昨年と同じ場所ですが、前日の雨の影響か河原に材料となる石材があまり見当たりません。 昨年の経験から石材から削り出す作業の大変さを経験している人は、小さく形の整ったものを探したりします。石斧材料ばかりではなく置石に良さそうなものを搜してみたり・・・石材選びにもそれぞれの個性が出ますが、まあ我々は楽しければそれでよし！ 昨年は拾ってきた石材を加工しているうちに割れてしまった苦い経験もあり、河原で割れ具合を真剣に確認する姿に成長の跡が見られます。

佐野さん、熊さんたちはまだまだ石材探しを続けていましたが、我々は一足お先に。

ちょっとした紅葉ツアーを楽しんできましたが、どんな石斧ができるかはこれからのお楽しみ。



❖ 縄文ドキドキ総選挙

全国各地の遺跡から出土した縄文土器を集めてネット上で総選挙が行われています。
北杜市からも出土品が参加していますが、30のエントリーのうち現在7位。1位との差は大きく
とても今から優勝は狙えませんが、Facebook か Google にアカウント登録して投票ができます。
一日一回ですが31日まで何回も投票できますので応援よろしくをお願いします！

<https://jomondoki.com/dokidoki-sousenkyo/dokidokisousenkyo2020/>

もしくは『ドキドキ総選挙』で検索してみてください



14 ちびーなす

プロフィール

愛称：ちびーなす

出土地：山梨県北杜市諏訪原遺跡出土

時期：縄文時代中期

収蔵：北杜市考古資料館

大きさ：高さ 5.3cm



概要

平成 23（2011）年に行われた諏訪原遺跡の調査の際に出土したものです。

5.3cm というミニサイズながら、乳房と正中線、そして縄文時代中期に作られた中部地方特有の切れ長の
つり上がった目、弓なりにつながった眉、下半身に刻まれた左右対称の模様を持っています。

横から見ると小さな胸の膨らみやお腹の膨らみが確認できます。ぷりっとしたお尻、側面、背面に模様が
施されています。

はじめ右手が欠損していましたが、これは発掘調査時にスコップが当たったことなどによるもので意図的
に割られていたものではないとのことから、平成 31 年 3 月に修復が完了し、今は手が生えた状態で展示
されています。

❖ 棟上げ、忘年会に向けて

昨年と違い 7 本柱の建物なので材料も多く必要となります。垂木にする 7M の柱も 14 本必要ですが
こここのところの雨で作業が中止となる日が多く、伐採や梁の加工が思いのほか進みません。

お天気次第、作業進捗次第のところもありますが、『棟上げ兼忘年会を！』と一部メンバーからは
強い要望が出されていますので、みなさんががんばって作業を進めましょう。